

はじめに

本市は、平成25年5月に人口が150万人を超え、これからも約20年は人口増が続く見込みであるなど、元気な町として知られております。しかしながら、国と同様急速に高齢化が進展し、平成52年（2040年）には約3人に1人が高齢者になると見込まれており、誰もが安心して生活することができるよう、持続可能な制度設計が求められています。

このような中、本市においては、平成24～26年度までの3カ年を計画期間とする「高齢者保健福祉計画（第5期介護保険事業計画）」を策定し、地域包括支援センターを中心に、高齢者の相談にきめ細かく対応するとともに、介護が必要な高齢者の増加に対応するため、特別養護老人ホームや、小規模多機能型居宅介護事業所などの基盤整備を着実に進めるなど、高齢者の福祉の向上に努めているところで

す。また、介護・保健（予防）・医療・生活支援・住まいの5分野のサービスを包括的かつ継続的に提供できる仕組みである地域包括ケアシステムの構築に取り組んでおります。

今回の高齢者実態調査は、高齢者保健福祉施策や介護保険サービスの必要量及び介護保険事業の円滑な推進のための施策の検討などのために必要な基礎的データの収集や分析を行うことを目的として実施いたしました。

今後、この調査を踏まえ、平成27～29年度を計画期間とする「第6期介護保険事業計画」を策定し、介護保険制度の円滑な実施を図りながら、高齢者一人ひとりが、生きがいを持ち尊厳を保ちながら住み慣れた地域で自立した生活を安心して続けることができる健康福祉のまちづくりを進めていきたいと考えております。

最後になりましたが、今回の調査にご協力をいただきました市民の皆様をはじめ、本調査にご尽力いただきました多くの方々に、心からお礼申し上げます。

平成26年 3月

福岡市保健福祉局長

中島 淳一郎